

「次世代建築物制御技術標準化実証事業」の紹介

当財団と(株)なうデータ研究所は、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が実施する平成21年度「次世代建築物制御技術標準化実証事業」に共同提案し、採択されました。この事業は中小ビルにおける省エネルギー化の普及を図るため、中小ビルにも導入可能なビルエネルギー管理システムインターフェース標準化の技術開発及び実証研究を行うもので、詳細は次のとおりです。

【テーマ名】

「エネルギー制御システムの為の標準的ルールベースシステムインターフェースの実証研究」

【事業の概要】

中小ビル事業者に対する省エネのためのエネルギー管理システム(EMS)の導入促進を図るため、既存の機器やソフトウェア技術を組み合わせてEMS導入費の低減を図り、天候などに応じてエネルギーを自動調節するルールベース技術を採用したEMSを開発する。

また、将来的には運用実験で得られた制御ノウハウを基に、中小規模の建築物における高い省エネ効果の実現を目指す。

【事業期間(予定)】

平成21年11月18日～平成22年6月30日

概要図

